

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護過程論		BNNSS3L08	30108	2前	1(30)	必修
担当教員	久留島 実姫	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	鯨坂 由紀	実務歴	有	看護師として病院に3年勤務		
担当教員	那須 さとみ	実務歴	有	看護師として病院/訪問看護ステーションに10年勤務		
担当教員	井上 貴子	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
概要	問題解決思考、批判的思考を活用し、看護の対象となる人々の健康状態を身体的・心理的・社会的側面からアセスメントし、個別性のある看護を実践、評価する「看護過程」について学ぶ。 本科目では、紙上事例(ペーパーパシエント)を用いて、看護過程を実施し、修得することを目指す。なお、授業は講義前の個人課題を基にグループ、ペアなどのワークを行い、個々の学修を深めるための授業形態で行う。					
学修目標	1.紙上事例を用いて看護過程が展開できる 2.看護において看護過程を実施する意義について述べるができる					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容	予習・復習内容				
1	ガイダンス・看護過程の概要	<b>【予習】</b> ・シラバス読む ・テキストを精読し、看護過程の5段階でどのようなことを行うか、各自でまとめたものを持参する *HPAの最終講義に使用したプリントへの記入が望ましい* <b>【復習】</b> ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナースングスキルに入力する				
2	看護過程に必要な看護の枠組み	<b>【予習】</b> ・ヴァージニア・ヘンダーソン著「看護の基本となるもの」を精読し、本文中から根拠となる部分を抽出し、以下の点についてまとめ、期限内にナースングスキルに入力する(詳細は第1講でアナウンスする) ①ヘンダーソンは看護についてどのように述べていたか <b>【復習】</b> ・授業中に新たに得た内容を含めて、改善した事前課題を期限内にナースングスキルに入力する ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナースングスキルに入力する				
3	アセスメント①(事例1) ヘンダーソンの看護論の枠組みを用いた事例患者の主観的・客観的情報の収集、整理	<b>【予習】</b> ・テキスト、その他書籍等を精読し、①②を行う。②は期限内に以下をナースングスキルに入力する(詳細は第2講でアナウンスする) ①事例1の情報を、記録用紙のヘンダーソン看護論の枠組みに沿って整理する ②さらに追加して欲しい情報とその理由を3つ考えて、持参する <b>【復習】</b> ・授業中に得た新たな情報を含めて記録用紙を整理し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする) *改善したことが分かるよう、追加記入した部分は色などで示す* ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナースングスキルに入力する				

4	<p>アセスメント②(事例1) 収集した情報の分析・解釈</p>	<p>【予習】 ・テキスト、その他書籍等を精読し、事例1の情報を健康時や基準値と比較し、逸脱している原因、成り行きを分析して、記録用紙に記入し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする)</p> <p>【復習】 ・授業中にグループワーク等で得た内容を含めて記録用紙を改善し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする) * 改善したことが分かるよう、追加記入した部分は色などで示す* ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナーシングスキルに入力する</p>
5	<p>アセスメント③(事例1) 患者の状態を示す全体像を作成する</p>	<p>【予習】 ・テキスト、その他書籍等を精読し、以下を行ない、事例1の情報および情報の分析・解釈を基に、関連図を作成し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする)</p> <p>【復習】 ・授業中にグループワーク等で得た内容を含めて全体像を改善し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする) * 改善したことが分かるよう、追加記入した部分は色などで示す* ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナーシングスキルに入力する</p>
6	<p>生活行動に関連した看護上の問題の抽出(事例1) 情報の整理・分析・解釈の結果に基づいた生活行動に関する看護上の問題の抽出</p>	<p>【予習】 ・テキスト、その他書籍等を精読し、事例1の生活行動に関連した看護上(看護が解決できる)の問題を抽出し、優先順位をつけ、記録用紙を期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする)</p> <p>【復習】 ・授業中にグループワーク等で得た内容を含めて生活行動に関連した看護上の問題を改善し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする) * 改善したことが分かるよう、追加記入した部分は色などで示す* ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナーシングスキルに入力する</p>
7	<p>看護計画立案①(事例1) 看護目標を達成するために必要な生活行動の援助計画の立案</p>	<p>【予習】 ・テキスト、その他書籍等を精読し、事例1の生活行動に関連した看護上の問題を解決する目標、期限を設定し、具体的な生活行動の援助計画をOP・TP・EPで立案した記録用紙を期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする)</p> <p>【復習】 ・授業中にグループワーク等で得た内容を含めて生活行動の援助計画を改善し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする) * 改善したことが分かるよう、追加記入した部分は色などで示す* ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナーシングスキルに入力する</p>
8	<p>事例1の看護過程の発表</p>	<p>【予習】 ・グループ発表の準備</p> <p>【復習】 ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナーシングスキルに入力する</p>
9	<p>事例1まとめ</p>	<p>【予習】 ・事例1の看護過程について、不明な点を明確化し、期限内にナーシングスキルに入力する</p> <p>【復習】 ・授業中に得た内容によって、不明な点がどのように解決したかについて期限内にナーシングスキルに入力する ・本時の目標への達成度を自己評価し、期限内にナーシングスキルに入力する</p>

10	看護過程の展開(事例2) ・アセスメント ・看護上の問題の抽出 ・看護計画立案	<b>【予習】</b> ・各回のグループ学習に必要な記録用紙を作成し、持参する <b>【復習】</b> ・本時の目標への達成度、グループ学習への参加度を自己評価し、期限内にナースィングスキルを入力する
11	看護上の問題の抽出(事例2)	
12	援助計画の立案(事例2)	
13	経過記録・評価・計画の修正 (事例2)	<b>【予習】</b> ・テキスト、その他書籍等を精読し、事例2の援助を実施した内容について経過記録・評価を記述し、記録用紙を期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする) <b>【復習】</b> ・本時の目標への達成度、グループ学習への参加度を自己評価し、期限内にナースィングスキルを入力する
14	看護の継続(事例2)	<b>【予習】</b> ・テキスト、その他書籍等を精読し、事例2の看護の要約(サマリー)を作成し、期限内に提出する(提出方法等は別途アナウンスする) <b>【復習】</b> ・本時の目標への達成度、グループ学習への参加度を自己評価し、期限内にナースィングスキルを入力する
15	まとめ	<b>【予習】</b> ・看護において看護過程を実施する意義について各自の考えを期限内にナースィングスキルを入力する <b>【復習】</b> ・授業中に得た新たな内容を含め、改めて看護において看護過程を実施する意義について自己の考えをまとめておく ・本時の目標への達成度、グループ学習への参加度を自己評価し、期限内にナースィングスキルを入力する
使用 テキスト	1.有田 清子他:《系統看護学講座 専門分野 I》基礎看護学[2]基礎看護技術 I,第16版4刷,医学書院. 2.ロイロノートスクール	
参考図書	1. ヴァージニア・ヘンダーソン著 『看護の基本となるもの』第10版 日本看護協会出版会.2014 2.坂井建夫他:《系統看護学講座 専門分野》解剖生理学 人体の構造と機能①,第10版2刷,医学書院  ＊以上の他は適宜紹介する	
成績評価 基準	定期試験(30%)、個人課題(40%)、グループ学習(20%)、学生自己評価(10%)	